

自分を知る・相手を知る

■ 今回のポイント

- ① 面接準備シートを記入して自分のことを知ろう
- ② 進路先の学校や会社を深く知ろう
- ③ エントリーシートには具体的に記入しよう

① 面接準備シートを記入して自分のことを知ろう
自分のことは知っているようで意外と知らないものです。書き出すことで、あまいなことやよくわかっていなかったことなどがはっきりしてきます。

面接は誰でも緊張します。事前にしつかり準備しておくことで、少しでも普段の自分らしさが表現できるようになります。

② 進路先の学校や会社を深く知ろう

ホームページやパンフレットなどで情報を集めるとともに、オープンキャンパスや会社説明会に直接出かけて、自分の目で確かめておきましょう。

「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」です。希望する進路先と自分自身とをしつかり把握して面接に臨みましょう。

③ エントリーシート（志願書）には具体的に記入しよう

わかりやすく、端的に、具体的に書きましょう。

結論（求められていること）から書きましょう。読み手にわかりやすく伝えるように、一文は短く、ただだらと続けないようにしましょう。



●面接準備シート

左記の質問は、面接でよく聞かれる内容です。記入してみてください。

●高校で力を入れたこと、学んだことについて話してください。

●部活動や委員会活動であなたは何をしましたか。

●得意科目と不得意科目について話してください。

●あなたの長所と短所を話してください。

●最近のニュースで気になることは何ですか。その理由も答えてください。

●志望動機について話してください。

●弊社（本学）のどこに魅力を感じますか

[]

●入社（入学）後、どんなことに力を入れますか。

[]

●あなたの夢について話してください。

[]

●自己PRを1分以内で話してください。

[]

●エントリーシート

エントリーシートは、進学か就職かによって書式が異なります。ただ、「志望動機」「学校生活の経験」「自己PR」は、おおむね共通して求められます。

■今回のまとめ

面接で緊張してしまって、失敗したという話はよく聞きます。伝えたい自分のことや相手が求めていることについて、あらかじめ考えを整理しておく、応対が的確になり緊張も和らぎます。

面接は、自分の希望や進路がかなうか否かが分かれる、重要なコミュニケーション場面です。どんな受け答えをすれば道が切り開かれるのか、今からそのときに備えておきましょう。